

# 希望と元氣な真庭を

真庭市長 太田 昇

新年、おめでとうございます。皆さまには、希望あふれる輝かしい新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

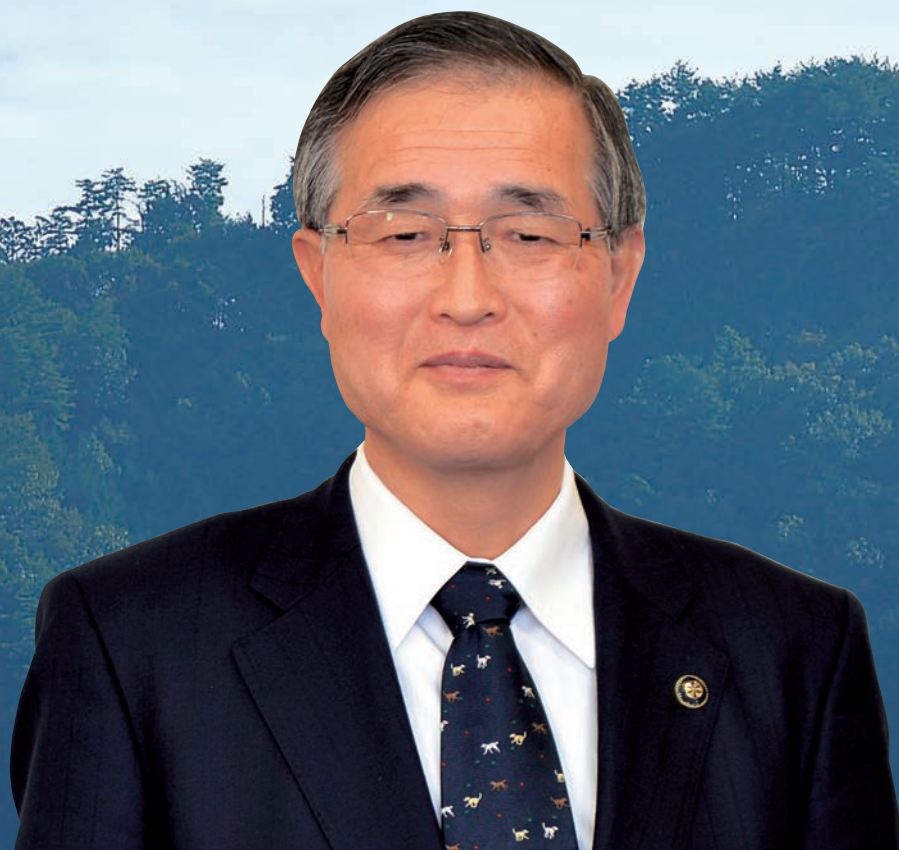
私が市長に就任して5年目になりますが、皆さまとともに「希望と元氣な真庭」を目指してまいりました。市内最大の地域資源である木を使い切るバイオマス発電やCLT普及の取組は「回る経済」を象徴する事業であります。このような取り組みを通じて力強い循環型の地域経済が進みつつあり、全国にそれを発信しています。また、皆さまの力により地域の資源に磨きをかけ、地域を輝かせ、元氣にする取り組みが市内各地で数多く起っており、安全・安心な地域社会を創る挑戦も進んでいます。この活気が、スポーツや文化の面にも波及してか、全国レベルでの活躍が多くなっていることは嬉しい限りであります。このような地域の総合力があつてこそ、「住みたい、行きたい、魅力ある真庭」を築くことができるのであります。

しかしながら、厳しい現実もありません。少子高齢化社会に入った現在、全国的に人口減少が進みつつありますが、農山村部ではそれがより深刻になり、本市も例外ではありません。真庭

市全体の人口減少をできるだけ抑制していく対策、人が減り地域共同体が危機になつている地域での弊害を最小限に食い止めるための対策、このふたつで重要課題に立ち向かわなければなりません。そのためには、市民の皆様とともに、この厳しい現実を共有しながら、市民力と行政力を主体的に結集することが大切であります。平成30年度当初予算は、人口減少対策を最重要課題として編成するとともに、これを実行できる組織にしてまいります。

このように、今を生きる私たちが頑張る、魅力ある真庭を創りながら、将来の真庭を担う次世代の「ひと」を産み育てなければなりません。厳しい財政の中で必死に「真庭市未来を担う人応援基金」として10億円を確保しています。この基金を有効に活用して、子どもを産み育て易い環境づくりを充実させるとともに、市外からの真庭市応援団を強化し、真庭に移り住む人を増加させる対策を充実してまいります。今年を「真庭の永続的発展を目指す元年」と位置付けて、「希望と元氣な真庭」を築いていこうではありませんか。

結びに、皆さまのご多幸とご健勝をお祈り申し上げます、私の決意を込めた年頭の挨拶といたします。





# 新年のごあいさつ

## 議会更なる活性化

真庭市議会議長 長尾 修

明けましておめでとうございます。皆様には、明るく希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、4月には議会議員選挙が行われ、新人5名、その内真庭市として、初の女性2名を含む議員24名での、新たな船出となりました。

政策提言・市民参加・情報公開を3本柱とした議会活性化の一環として、8月には講師をお招きし、「質問力の向上」と題した議員研修会を開きました。また、それぞれの委員会において各種団体との意見交換を行い、現在の活動状況などについて意見を交わしました。

この交換会を基に11月に、議会では『政策討論会』を開催し、「自主防災組織力の向上と活動強化について」と「障がい者の一般就労に向けた支援策について」の2件について、議員間討議を行い活発な議論を交わすことができました。この政策討論会で全員合意を得たものについては議会として執行部に対し、政策提言を行いました。今

後も市民意見を的確に把握し、市政に届けてまいります。

また、政務活動費の領収書などの書類のホームページでの公開を始めました。今回の対象は平成28年度分ですが、平成25年度分からのものについても準備が整い次第、順次公開します。本年の最初の活動としましては、

「真庭市議会報告会・市民と語る会」を1月26日、27日、28日の3日間、市内12カ所で開催します。市民の皆様との対話を大切にし、皆様の付託に応え、より身近で、信頼される市議会となるよう、議員一丸となって取り組んでまいりますので、多数の参加をお待ちしております。

真庭市議会としましては、本年もさらに研鑽を重ね、総力を結集して積極的に議会改革に取り組んでまいりますのでございます。皆様のより一層のご指導とご協力を賜りますようお願いいたします。

結びに、今年が皆様方にとりまして幸多き年になりますよう、ご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

